|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **主なアセスメントツール一覧表　　　　　（図表で学ぶ認知症の基礎知識より）** | | | |
| **ツール名** | **開発団体名** | **概要** | **アセスメント領域** |
| MDS-HC方式 | 施設版MDSのアメリカの開発者と、各国でMDSの導入や研究に関わってきた高齢者ケアの専門家によって組織された非営利団体ｉｎｔｅｒＲＡＩ（インターライ） | 在宅高齢者の症状や生活状況を機能面・感覚面・精神面・健康面・ケアの管理・失禁などについてケア計画を検討する。 | AA:基本情報　　A:アセスメント情報  B:記憶　C:コミュニケーションD:視力  E:気分と行動　F:社会的機能  G:インフォーマルな支援の状況  H:ＩＡＤＬとＡＤＬ　I:排泄　J：疾患  K：健康状態及び予防　L：栄養状態  M：歯及び口腔状態　N:皮膚の状態  O:環境評価　P:治療方針の順守　Q:薬剤  R:評価者の情報　S:薬物治療調査表 |
| 包括的自立支援プログラム  （三団体ケアプラン策定研究会方式） | 全国老人保健施設協会  全国老人福祉施設協議会  介護療養型医療施設連絡協議会  （現・日本療養病床協会）の3団体が共同で開発 | MDSを基礎にケアチェック表を用いて問題や課題を抽出。  施設での活用が多い。「要介護認定・要支援認定」と直接連動している。 | 【ケアチェック表】  １：食事・水分に関するケア  ２：排泄に関するケア  ３：清拭等に関するケア  ４：洗面・口腔清拭・整容・更衣に関するケア  ５：基本動作介助・リハビリテーション等に関するケア  ６：医療・健康に関するケア  ７：心理・社会面に関するケア |
| 生活援助を基礎とした自立支援アセスメント・ケアプラン（日本介護福祉士会方式） | 日本介護福祉士会 | 心の健康、家族関係など、生活7領域から問題抽出を行う | 領域１：衣（6項目）  領域２：食（8項目）  領域３：住（8項目）  領域４：体の健康（9項目）  領域５：心の健康（5項目）  領域６：家族関係（5項目）  領域７：社会関係（5項目） |
| ケアマネジメント実践記録様式・介護保険課題分析標準項目準拠版  （日本社会福祉士会方式） | 日本社会福祉士会 | 項目別のアセスメント表に5段階のレベルチェックし、ケアプランに結び付けるもの | Ⅰ：健康状態（6項目）  Ⅱ：理解・行動（1項目）  Ⅲ：ADL（7項目）  Ⅳ：家事・IADL(1項目)  Ⅴ：生活の質（社会参加）と生活支援（権利擁護）  （2項目）  Ⅵ：介護状況（7項目）  Ⅶ：居住環境（6項目） |
| 日本版成人・高齢者用アセスメントとケアプラン  （日本訪問看護振興財団方式） | 日本訪問看護振興財団 | MDSを基礎に、各ステップを踏みながらケアプランを  作成する。 | Ⅰ：基本状況  Ⅱ：生活療養情報（A～O）  Ⅲ：ターミナルケア情報（１～２）  Ⅳ：家族介護・家事の情報（１～２）  Ⅴ：社会資源導入情報（１～３） |
| 全国社会福祉協議会方式 | 全国社会福祉協議会 | 居宅サービスガイドラインをもとにした記入中心のもの | 1. 要介護者等の相談内容を含めたフェース   シート   1. 家族状況とインフォーマルな支援の状況 2. サービス利用状況 3. 住居等の状況 4. 本人の健康状態・受診等の状況 5. 本人の基本動作等の状況 6. 援助内容の詳細 7. 全体のまとめ・特記事項 8. 1日のスケジュール |